

世界自閉症啓発デー2024（令和6年4月2日）に寄せて

毎年4月2日は、国連の定める「世界自閉症啓発デー」です。また、我が国では、4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」として、様々な啓発活動に取り組んでいます。

今年は、世界自閉症啓発デー日本実行委員会初の公式テーマソング「WE BELONG わたしたちのうた」が生まれました。すべての子どもたちのアイデンティティーや友情を尊重し、多様性豊かな社会で、子ども全員が自分自身に誇りを持ち、居場所を感じられるようにとの願いが込められた楽曲となっています。

また、全国各地で、自閉症のシンボルカラーである青色で地域を照らす「ライト・イット・アップ・ブルー」や、ポスターの掲示、広報誌への啓発記事の掲載など様々な取組が行われています。

子ども家庭庁は、昨年4月に、「子どもまんなか」社会の実現に向けて発足し、障害児の支援についても、子ども施策全体の中で一層の推進を図ることとされました。

子どもの視点に立って意見を聴き、その声を大切にして、子どもたちにとって最もよいことは何かを考えながら、障害の有無にかかわらず、安心してともに育ち暮らす地域づくりを進めていくことが重要であると考えています。

「世界自閉症啓発デー」や「発達障害啓発週間」が、子ども1人ひとりの個性や特性を理解し、子どもや子育てをしている人の気持ちに想いを馳せて、寄り添うことの契機となるよう期待したいと思います。また、それによって、子どもが自閉症・発達障害などの障害に関係なく健やかに育つことができ、すべての子どもと子育てをしている人々が、それぞれの多様性を認め合い、尊重し合い、誇りをもって生きられる社会の実現につながっていくことを強く期待して、私からのメッセージといたします。

令和6年4月2日

子ども政策担当大臣 加藤 鮎子